

みずほCustomer Desk Report 2023/06/09 号 (As of 2023/06/08)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	140.03
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	139.90	1.0708	149.80	1.2446	0.6659
SYD-NY High	140.22	1.0787	150.04	1.2561	0.6718
SYD-NY Low	138.82	1.0698	149.62	1.2438	0.6652
NY 5:00 PM	138.93	1.0782	149.75	1.2558	0.6716

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,833.61	168.59	日本2年債	▲0.0600%	0.0000%
NASDAQ	13,238.52	133.63	日本10年債	0.4300%	0.0200%
S&P	4,293.93	26.41	米国2年債	4.5158%	▲0.0343%
日経平均	31,641.27	▲ 272.47	米国5年債	3.8572%	▲0.0771%
TOPIX	2,191.50	▲ 14.80	米国10年債	3.7170%	▲0.0744%
シカゴ日経先物	31,895.00	5.00	独10年債	2.4220%	▲0.0210%
ロンドンFT	7,599.74	▲ 24.60	英10年債	4.2300%	▲0.0150%
DAX	15,989.96	29.40	豪10年債	3.9830%	0.1630%
ハンセン指数	19,299.18	47.18	USDJPY 1M Vol	9.03%	▲0.31%
上海総合	3,213.59	15.83	USDJPY 3M Vol	9.16%	▲0.26%
NY金	1,978.60	20.20	USDJPY 6M Vol	9.36%	▲0.26%
WTI	71.29	▲ 1.24	USDJPY 1M 25RR	▲1.03%	Yen Call Over
CRB指数	262.32	0.88	EURJPY 3M Vol	8.63%	▲0.18%
ドルインデックス	103.34	▲ 0.76	EURJPY 6M Vol	9.04%	▲0.20%

東京	ドル円は前日の流れを引き継ぎ早朝に一時140.22まで上昇後、じりじりと値を下げ139.90レベルで東京時間オープン。仲値近辺ではドル買い優勢となり140.10を付けるも勢い続かず。その後日経平均株価の下落を背景に139.67までリスクオフの円買いが進んだ。米金利が再び上昇に転じると値を戻し、139.95レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ドル円は上値重い展開、欧州通貨は対ドルで上昇。ロンドン市場のドル円は、139.95レベルでオープン。特段の材料がない中で方向感なく推移し、結局139.70レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.0708レベルでオープンし、ドル指数の下落を背景に1.0740まで堅調に推移。その後、ユーロ圏第1四半期GDP確報値が前期比0.1%減少したことが発表され、2四半期連続のマイナス成長としてテクニカルセッションとなるも影響は限定的で、結局1.0736レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は140円台前半でスタート。日経平均株価が前日に続き下落している事を受け、リスクオフの円買いが優勢となり、じり安での推移が続き、139.70レベルでNYオープン。朝方に発表された米失業保険継続受給者数は予想を下回ったものの、新規失業保険申請件数が予想より悪化した内容を受け、ドル売りで反応し、139円台前半まで下落する。その後も米金利が下落する展開を背景に、138.82まで続落。午後は特段の材料を欠き、138.90付近での動意薄い小動きとなり、138.93レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.06台後半でスタート。欧州株式市場が連日堅調な展開を受け、買い地合となり1.07台前半まで付ける。続いて発表されたユーロ圏第1四半期GDPが下方修正され、2四半期連続のマイナス成長を記録した事から、ユーロ圏が景気後退に陥ったとの見方が示されるも、織り込み済みからか、反応薄。その後1.0736レベルでNYオープン。朝方は米経済指標の内容を受け、上げ幅を拡大し1.07台半ばまで上昇。午後ユーロ高の流れとなり、1.0787まで値を戻す。その後も高値圏での動きが続き、1.0782レベルでクロス。

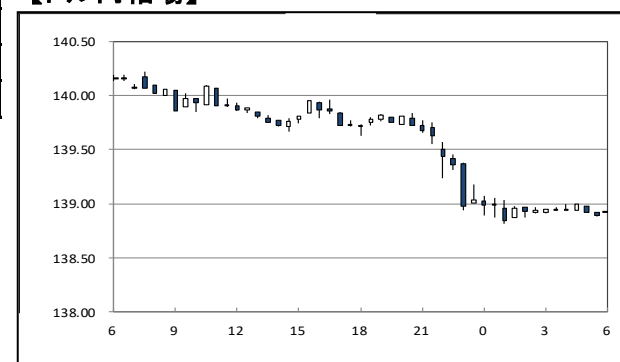
【昨日の指標等】

Date	Time	Event			結果	予想
6月8日	08:50	日	GDP(季調済/前期比)・確報	1Q	0.7%	0.5%
	08:50	日	GDP(年率/季調済/前期比)・確報	1Q	2.7%	1.9%
	18:00	欧	GDP確報(前期比/前年比)	1Q	-0.1%/1%	0%/1.2%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	3-Jun	261k	235k
	23:00	米	卸売在庫(前月比)・確報	4月	-0.1%	-0.2%
	23:00	米	卸売売上高(前月比)	4月	0.2%	0.9%

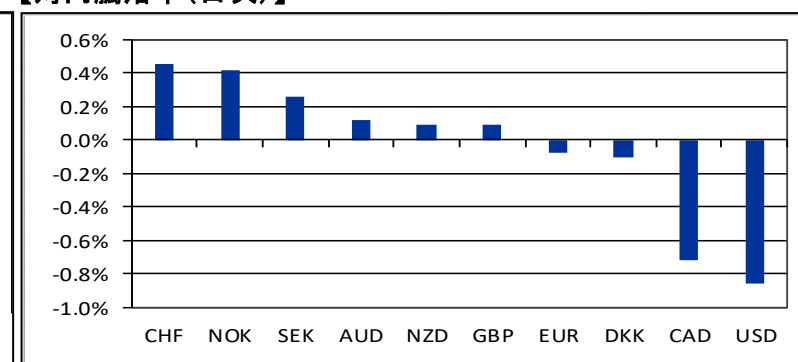
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月9日	10:30	中 CPI(前年比)	5月 0.2%	0.1%
6月9日	10:30	中 PPI(前年比)	5月 -4.3%	-3.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.50-139.50	1.0720-1.0840	149.30-150.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は軟調な値動きとなった。欧州時間までは139円台後半で底堅く推移していたが、米国時間に発表された先週の米新規失業保険申請件数が、前週比+2.8万件の26.1万件に3週連続で増加する結果となり、急落する展開となった。7月以降のFRBによる利上げ観測後退を受けて、米2年/10年債利回りが、4.47%/3.70% 台に低下する動きに相俟って、138.82円まで下押しし、同レベルでクローズしている。本日のドル/円は底堅い展開を予想する。昨日は雇用関連の指標の悪化で米景気後退懸念が再燃し、米長期金利が大幅に低下した為、ドル/円も下値を切り下げたが、足元では米金利の低下は一服しており、ドル/円も押し目買いが入りやすいと思われる。米株も昨日はプラス圏で引けているため、日経平均が大崩れするとも考えづらいことから、ドル/円は底堅い動きとなりそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大熊・田川